

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2022年10月12日

グループ内発電燃料の完全脱石炭化へ 松山事業所内発電所をガスコージェネレーションに転換

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）は、このたび松山事業所北地区内で使用している自家発電設備について、現在の石炭および石油燃料を用いた発電から、都市ガスを燃料として発電を行うガスコージェネレーションシステム(*)に転換することを決定しました。

(*)電力や熱を消費する現場でガスを燃料として発電及び熱供給するシステム。エネルギー効率が高いためCO2削減効果が大きい。

帝人グループは自社によるCO2排出量の削減目標を2030年度までに2018年度対比30%削減、2050年度までに実質ゼロとすることを掲げています。2030年度の削減目標の達成には将来の事業成長の見込みを含めると、2018年度のCO2排出量から約60万トンの削減が必要ですが、今回の燃料転換により、その約30%に当たる年間20万トンの削減効果を見込んでいます。また、燃料として使用する都市ガスは、四国ガス株式会社より供給され、将来的にはカーボンニュートラルな燃料に置き換えることで、さらなる環境負荷軽減に貢献していきます。

また、このたびの新規設備構築に関する投資の経済性判断においては、2021年1月より導入しているインターナルカーボンプライシング（ICP）制度を適用しており、CO2削減量1tあたり50€分のコスト削減効果と見做し、投資の実行を決定しました。なお、投資規模は老朽化した受配電設備を含めて百数十億円、発電所の規模としては約3万kWを見込んでいます。

今後、松山事業所北地区内に新規発電設備を建設し、2025年度中に本格稼働させる予定です。これによって帝人グループは、化学繊維業界において、現在発電燃料に石炭を使用している日系メーカーの中では先駆けて、国内外で使用する発電燃料の「完全脱石炭化」を達成する見込みです。今後、さらに再生エネルギー化の推進や、各事業における地道なエネルギー効率化・省エネ化の取り組みを進め、2030年および2050年までの削減目標の達成を目指していきます。

帝人グループは今後も、事業活動に伴う環境や社会への負の影響が最小限となるよう努めていきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055